

- A. 日 時 2008年5月20日(火) 17時00分～19時00分
- B. 場 所 建築学会会議室#302
- C. 出席者 赤尾伸一, 安藤 啓, 井上勝夫, 大鶴 徹, 古賀貴士, 岸永伸二, 佐久間哲哉, 田端 淳,
中澤真司, 吉久光一, 吉村純一, (敬称略)
欠席者 岩瀬昭雄, 河井康人, 坂本慎一, 濱田幸雄, 平松友孝, 福地智子, 安岡博人(敬称略)
- D. 提出資料
No.1-0 2007年度 第7回 音環境運営委員会議事録(案)(田端)
No.1-1 建築環境工学用教材の構成について(坂本)
No.1-2 CASBEE への対応について(平松)
No.1-3 日本音響学会騒音・振動研究会の開催案内(吉久)
No.1-4 日本音響学会建築音響研究会(吉村)
- E. 審議事項
1. 前回議事録確認(資料No.1-0)
 - ・承認された.
 2. 環境工学本委員会(2008.5.20)報告(大鶴主査)
 - ・竹中有英会研究助成の応募状況:総数70件のうち環境系が19件
 - ・代議員等による学術委員会評価:「研究成果が高く, 評価できる」「全体として適切な活動等を行っている」と評価できる」のほか, 「委員会のリストラを迫る」など厳しい意見もあるが, 異なる代議員間で相対する意見も複数認められる状況である.
 - ・鹿島学術振興財団研究助成:採択7件, うち3件が環境系
 - ・2007年度小委員会等活動成果報告:webに掲載した.
 - ・2009年度大会:会場は東北大. 会期は9月4日(金)～6日(日).
 - ・2008年度大会:
 - ・申込件数は全体では過去最大. 環境系は1,300件でこれまでで2位.
 - ・「建築デザイン発表会」の申込者(176件)に「建築デザイン発表会」が設定されていない場合の対応をアンケートしたところ, 111件が「応募しなかった」とのこと. 3件が「環境系へ応募した」であった. 設定により発表件数が増えた.
 - ・発表時間は例年通り.
 - ・オーガナイズドセッションは環境系は7件. 他分野に比べて活発.
 - ・会場:環境系の講演発表はK棟, L棟の13室. 研究協議会(2日目14:15～)の会場は363名収容.
 - ・司会依頼は例年通りの手続き.
 - ・学会賞受賞記念講演:2日目午後の研究協議会の前に実施. 環境系は3名で15分ずつ.
 - ・非公式行事を開催する場合には, 7/25(金)までに事務局へ. 学会で会場手配等を行なう.
 - ・環境系懇親会はJR広島駅近くのホテルで実施予定.
 - ・基準・仕様書の作成にかかわる予算措置について:学会の基準・仕様書の作成は, 行政が法令を公開することとは果たすべき役割が異なる. このため予算措置については継続的に審議する.
 - ・建築環境工学実験用教材の改訂:音の原稿は提出済み.
 - ・ワークスペース・プロダクティビティ検討小委員会:最終報告が提出された. 「音環境」は学習意欲低下の影響の第一要因. 本成果は2007年国土交通省知的生産性委員会にも活用された. 関係各位には資料を活用頂きたい, 旨, コメントがあった.
 3. 建築環境工学用教材の構成について(資料No.1-1)(大鶴主査)

建築環境工学用教材(環境編, 設備編)の構成に関し, 坂本委員から構成案が示された. 坂本委員から提案のあった「環境編に床衝撃音を1頁追加する」提案に加え, 「環境編の騒音防止設計(2頁)に屋外騒音伝搬, 固体伝搬音の記載を加え3頁とする」提案がなされた. 設備編に関しては, 「電気音響設備」を加える提案をすることとした.

4. CASBEE 対応について(資料 No.1-2) (大鶴主査)

平松委員より坊垣主査(CASBEE室内環境検討小委員会)へ提出された改定案(叩き台)は 2008 年版の改定には受諾されなかった. 今後, 改訂の仕組みを確認し, 改訂を働きかけることとした. 本件に関し, 要望等があれば主査へ連絡する.
5. プレジデントの記事について

プレジデントに掲載された文章は「個人の文章」であり, 学会として取り合うことはしない. 研究者個人で意見を提出して執筆者の誤解を解く. 先方の対応によっては学会としての対応を検討する.
6. 小委員会・WG 活動報告

固体音小委員会(中澤委員)

 - 6/3 に委員会開催予定.

集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会

建築音響測定法小委員会(赤尾主査)

 - インピーダンス測定法の留意点をまとめている.

室内音響小委員会(岸永主査)

 - 2008 年「拡散」をテーマとしてシンポジウムを計画.
 - 音響指標測定 WG は実測データをまとめて整理していく. WG の目標を明確化.

音響数値解析小委員会(佐久間主査)

 - 5/6 に委員会を開催.
 - 秋～年末にシンポジウムを計画中.
 - 吸音材料を対象とした検討を行う. 小林理研の残響室において実測を計画.

企画・広報 WG(安藤主査)

 - 5/12WG を開催.
 - アカスタに関しては戦略的に議論を開始.

その他

 - 4/24 アカデミックスタンダード刊行委員会開催. 音環境の委員は安藤委員(福地委員から交代)
7. 他学会の予定
 - 日本音響学会騒音・振動研究会(資料 No.1-3): 5/20 名城大, 6/20 小林理研, 7/25 金沢工大、8/3 北大(吉久委員)
 - 日本音響学会建築音響研究会(資料 No.1-4): 6/20 小林理研[騒音研究会と共催](吉村委員)
8. その他
 - 2009 年度活動計画は 2008 年 11 月に作成予定. 組織の再編がある場合には早期に連絡を. (大鶴主査)
 - 音声伝送のアカスタに関しては, 大会オーガナイズドセッションで活発な議論を期待します. (大鶴主査)
9. 次回の予定
 - 次回は 7 月 25 日(金)17:00～ 建築会館会議室

2008 年度 音環境運営委員会予定		
第 1 回	2008.5.20(火)	実施
第 2 回	2008.7.25(金)	(決定)
第 3 回	2008.9.26(金)	
第 4 回	2008.11.27(木)	
第 5 回	2009.1.20(火)	
第 6 回	2009.3.16(月)	